

平成 30 年度の利活用検討の取組

＜空港周辺地域での住民説明会＞

- 『「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書』の内容について情報提供を行うとともに幅広い意見を聴取することを目的とした住民説明会。
- 東区・北区の空港周辺地域である 9 連合町内会の地域で実施。全 9 回で延べ 209 名の方が参加。
- 説明会での主な意見
 - 滑走路延伸は利便性の向上に繋がるため前向きに検討してほしい
 - 空港までのアクセスが悪いので、改善してほしい
 - 過去の地元合意は守られないのか等、検討の進め方への不満
 - 滑走路延伸や増便等により騒音の悪化や危険性の増加が懸念される
 - ハード整備ではなく福祉等のソフト整備にもっと税金を使うべきだ

＜丘珠空港利活用検討関係者会議＞

- 札幌市及び北海道のビジネスや観光、防災、医療等を支える役割を持つ丘珠空港について、更なる利活用を通じて札幌市の活力の向上に活かす検討を行うことを目的とした会議体。
- 地域住民・学識経験者・空港関係者の 9 名で構成し、全 3 回の会議を実施。
- 丘珠空港の利活用の在り方や利活用策、札幌市が行う利活用検討に係る情報提供及び意見収集に関して議論して頂き、市に対し助言を頂いた。
- 関係者会議における主な助言内容
 - 現在の空港利用価値を高めることは積極的に実施し、将来像についてはより深く検討し、同時並行的に取り組んでほしい
 - 利活用の議論は、地域への環境面、安全面の配慮が前提条件であることを念頭に進めて頂きたい
 - 滑走路長の延伸について、この会議ではその必要性について共通認識があったところであり、市民の意見を踏まえてその方向付けをして頂きたい
 - 多くの人に関心を持って頂き、広い範囲で意見を収集するよう努めて頂きたい

＜市民 1 万人アンケート＞

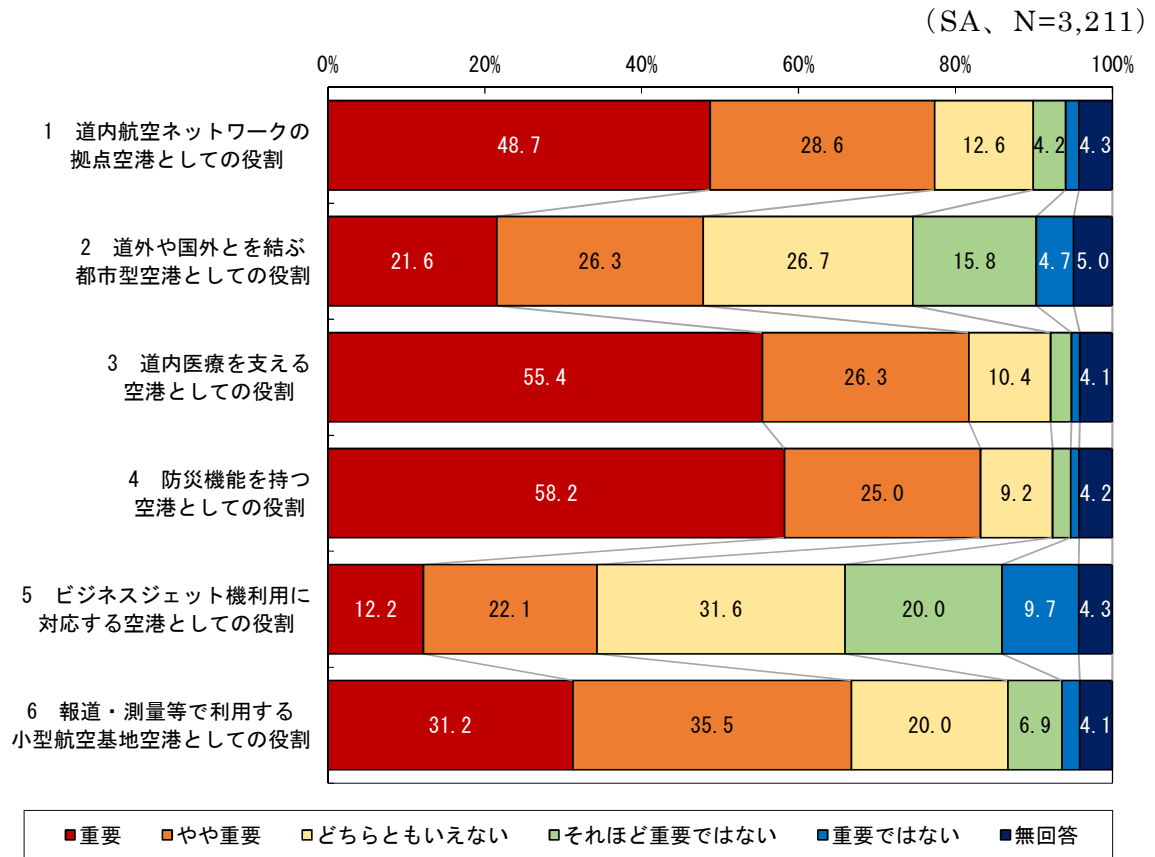
- 丘珠空港の利活用に対する市民の意見やニーズを把握することを目的としたアンケート調査。
- 調査項目は、利活用検討の認知度・関心度、丘珠空港の役割の重要度、検討を進めるべき利活用策など
- 札幌市内に住所登録のある 18 歳以上の方の中から無作為に抽出した 1 万人にアンケート調査票を送付し回収。
- 有効回答数は 3,211 件で回答率は 32.1%

＜裏面に続く＞

● アンケート結果（抜粋）

< 丘珠空港が持つ6つの役割それぞれについて、あなたが考える重要度 >

重要度が高いもの（重要+やや重要）は、「4 防災機能を持つ空港としての役割」が最も高く 83.2%、次いで「3 道内医療を支える空港としての役割」が 81.7%、「1 道内航空ネットワークの拠点空港としての役割」が 77.3%となっている。



< 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の21の利活用策の中で検討を進めるべきと思う策 >

検討を進めるべきものは、「大規模災害時等における空港の臨時医療拠点としての活用」、「防災機能の強化等のための消防ヘリ・医療ジェット用の駐機場・格納庫の整備」がいずれも最も多く 66.6%、次いで「現在運航している民間航空機や医療用ジェットの通年運航が可能になる滑走路の延伸」が 52.7%となっている。

(MA、N=3,211)

